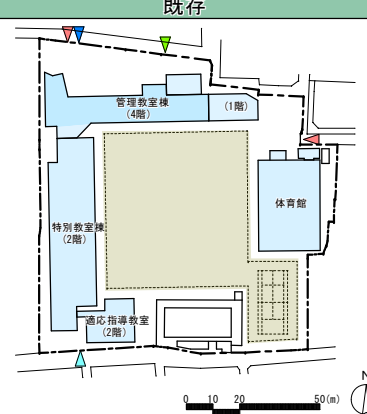
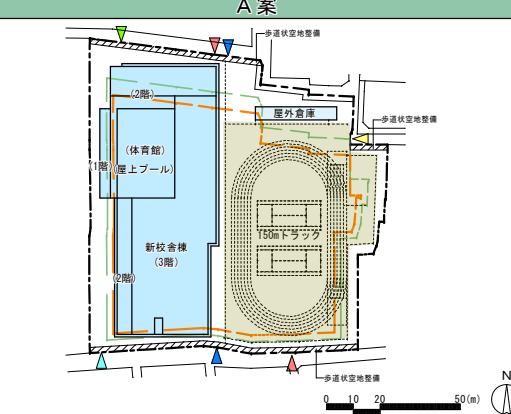
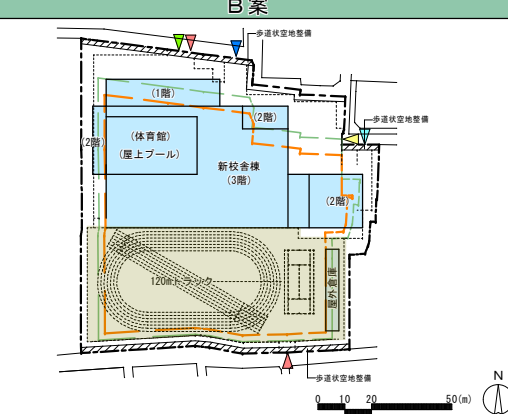
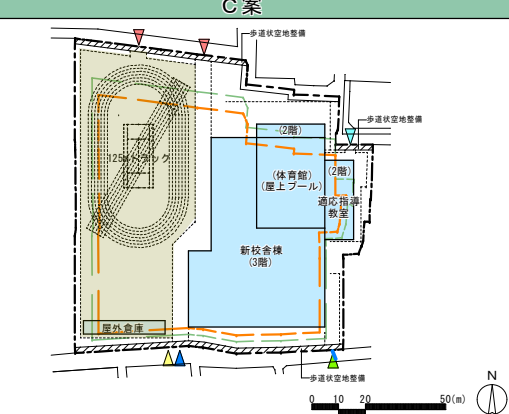


既存		A 案		B 案		C 案		
								
<p>▲: 生使用 ▲: 地域開放 △: 通用口 ▲: 給食用 ▲: 適用指導教室用</p> <p>校庭範囲 建築可能高12m 建築可能高15m</p>		<p>▲: 生使用 ▲: 地域開放 △: 通用口 ▲: 給食用 ▲: 適用指導教室用</p> <p>校庭範囲 建築可能高12m 建築可能高15m</p>		<p>▲: 生使用 ▲: 地域開放 △: 通用口 ▲: 給食用 ▲: 適用指導教室用</p> <p>校庭範囲 建築可能高12m 建築可能高15m</p>		<p>▲: 生使用 ▲: 地域開放 △: 通用口 ▲: 給食用 ▲: 適用指導教室用</p> <p>校庭範囲 建築可能高12m 建築可能高15m</p>		
比較項目		改築基本方針該当番号						
校舎環境	教室配置	I, II, III, V	○	・普通教室は2階、3階 <b>東側（校庭側）</b> に集約	○	・普通教室は2階、3階 <b>南側（校庭側）</b> に集約	▲	・普通教室は2階、3階 <b>南側（住宅側）</b> に集約
	適応指導教室	I, II, V	○	・学校活動エリアと <b>重複しない位置</b> に配置 ・体育館・特別教室へ <b>アクセスしやすい</b>	▲	・別棟だが学校活動エリアに <b>近接する</b> ・体育館・特別教室へ <b>アクセスがしにくい</b>	▲	・学校活動エリアと <b>重複しない位置</b> に配置 ・特別教室へ <b>アクセスがしにくい</b>
	窓先の環境、日照、採光	I, III, IV	○	・普通教室は東側採光	○	・普通教室は南側採光	○	・普通教室は南側採光（一部東・西側）
	動線・アクセス	V, VI	○	・生徒は <b>3方向</b> からアクセス可能 ・生徒・適応指導教室・開放の動線を分離	▲	・生徒は <b>1方向</b> からアクセス可能 ・生徒・適応指導教室・開放の動線が一部近接	○	・生徒は <b>2方向</b> からアクセス可能 ・生徒・適応指導教室・開放の動線を分離
校庭環境	校庭配置、形状、広さ	I, III, VI, VII	○	・既存よりも <b>広くなる</b> （現況+130㎡程度）	▲	・既存より <b>狭くなる</b> （現況-450㎡程度）	▲	・既存より <b>狭くなる</b> （現況-100㎡程度）
	日照	I, III	▲	・冬季、午後にかけて <b>一部に日影が生じる</b>	○	・校庭に <b>ほとんど日影が生じない</b>	▲	・冬季、午前に <b>一部に日影が生じる</b>
	車両アクセス	I, III, V	○	・ <b>3方向</b> アクセス可能	▲	・ <b>1方向</b> からアクセス可能	○	・ <b>2方向</b> からアクセス可能
周辺環境	日影	III	▲	・西、東及び北側の一部の日影範囲が既存より増える	▲	・西、東及び北側の一部の日影範囲が既存より増える	▲	・西、東及び北側の一部の日影範囲が既存より増える
	学校へのアクセス	II, VII	○	・周辺道路 <b>全て</b> からアクセス可能	▲	・周辺道路 <b>2方向</b> からアクセス可能	▲	・周辺道路 <b>2方向</b> からアクセス可能
改築中の教育環境	仮設校舎	I, III	▲	・仮設校舎が必要（40ヵ月）	▲	・仮設校舎が必要（32ヵ月）	▲	・仮設体育館が必要（44ヵ月）
	工事中の校庭	I, III	○	・校地内に一部確保できる期間が長い（63ヵ月）	▲	・校地内に一部確保できる期間がA案より短い（30ヵ月間）	▲	・校地内に一部確保できる期間がA案より短い（23ヵ月間）
工事期間		6ヵ月 10ヵ月 31ヵ月 12ヵ月+6ヵ月 7ヵ月 計 72ヵ月		6ヵ月 10ヵ月 23+15ヵ月 12ヵ月+6ヵ月 （7ヵ月） 計 72ヵ月		6ヵ月 8ヵ月 31ヵ月 7ヵ月+12ヵ月 7ヵ月 計 71ヵ月		
コスト		計 α円		計 α+6億円		計 α-4億円		

※工事期間、コストについては、あくまで現段階の想定であり、実際には前後する可能性があります。